

事業活動の沿革

1934年 1月	写真フィルム製造の国産工業化計画に基づき、大日本セルロイド株式会社(現ダイセル化学工業株式会社)の写真フィルム部の事業一切を分離継承して富士写真フィルム株式会社を設立。(資本金300万円)
1934年 2月	足柄工場の操業を開始し、写真フィルム、印画紙、乾板など写真感光材料の製造を開始。
1938年 6月	小田原工場建設(写真感光材料の硝酸銀、色素などの高度化成品部門並びに光学硝子、写真機などの精密光学機器・材料部門充実)
1944年 3月	(株)榎本光学精機製作所を買収し、富士写真光機(株)(現 連結子会社)に商号を変更。
1946年 4月	天然色写真(株)を設立。(現 連結子会社(株)マジカラーサービス)
1962年 2月	英国ランクゼロックス社との合併により富士ゼロックス(株)を設立。(現 連結子会社)
1963年 10月	富士宮工場建設(印画紙用パライタおよびパライタ原紙製造)
1965年 4月	マジカラー販売(株)を設立((株)マジカラーサービスより分離独立)(現 連結子会社)
1965年 12月	Fuji Photo Film U.S.A., Inc.を米国ニューヨーク州に設立。(現 連結子会社)
1966年 6月	Fuji Photo Film(Europe) GmbHをドイツに設立。(現 連結子会社)
1973年 9月	吉田南工場建設(オフセット印刷用材料(PS版)製造)
1982年 8月	Fuji Photo Film B.V.をオランダに設立。(現 連結子会社)
1987年 3月	Fuji Magnetics GmbHをドイツに設立。(現 連結子会社)
1988年 7月	Fuji Photo Film, Inc.を米国サウスカロライナ州に設立。(現 連結子会社)
1990年 3月	富士フィルムマイクロデバイス(株)を設立。(現 連結子会社)
1990年 12月	(株)マジックスを設立。(現 連結子会社 富士フィルムフォトニクス(株))
1993年 10月	千代田メディカル(株)の発行済株式総数の51%を取得。(現 連結子会社)
1995年 10月	蘇州富士フィルム映像機器有限公司を中国江蘇省に設立。(現 連結子会社)
1996年 6月	香港富士写真物流有限公司を香港に設立。(現 連結子会社)
1996年 11月	FUJIFILM Electronic Imaging Ltd.を英国に設立。(現 連結子会社)
1997年 12月	Eurocolor Photofinishing GmbH & Co.KGをドイツで買収。(現 連結子会社)
2001年 3月	富士ゼロックス(株)の発行済株式総数の25%を追加取得。出資比率を75%として連結子会社化。
2001年 10月	Enovation Graphic Systems, Inc.を米国に設立。(現 連結子会社)
2002年 9月	ジャスフォート(株)の株式を公開買付にて取得。(現 連結子会社)
2003年 4月	プロセス資材(株)の株式を追加取得し、連結子会社化するとともに富士フィルムグラフィックシステムズ(株)に商号を変更。

環境関連等の加入団体一覧

(社)日本化学工業協会、日本レスポンシブル・ケア協議会、写真感光材料工業会、(社)日本化学物質安全・情報センター、(社)産業環境管理協会、(社)電子情報技術産業協会、(財)日本容器包装リサイクル協会、国際連合大学ゼロエミッションフォーラム、グリーン購入ネットワーク、環境報告書ネットワーク、エコデザイン学会、カメラ映像機器工業会、エコステージ研究会